

令和6年度 えりも高校 第2回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：12月2日～1月17日

質問項目（各教科・科目共通）

先生に関する項目	①	授業の目標・課題設定がわかりやすい。
	②	板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。
	③	授業の内容や難易度は自分に合っている。
	④	ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。
	⑤	どのように評価されるか説明している。
	⑥	内容や疑問点について振り返る時間があり、伝えやすい。
生徒自身に関する項目	⑦	話を聞く姿勢を取るなど、ふさわしい態度で学習している。
	⑧	授業に積極的・主体的に参加している。
	⑨	分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。
	⑩	この授業を通して、その科目に関する考え方が深まった。
	⑪	この授業を通して、知識や技能の向上を実感している。
授業についての記述欄		授業に関して特に学びを得たと思うことを記入してください。
		授業に要望があれば記入してください。

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

4	そう思う。
3	どちらかというと思う。
2	どちらかというと思わない。
1	思わない。

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

3.5以上	A評価
3.0以上	B評価
2.5以上	C評価
2.5未満	D評価

**教科（国語科）**

①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）

全学年通して、「①授業の目標がわかりやすい」、「⑤どのように評価されるか説明されている」が、評価が高い。単元ごとに本時の目標立てが一貫している結果であると考え。また、評価についても明記したり説明をしている。今後も指導と評価の一体を念頭に継続していく。

②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）

1年生は後期から古典分野ということもあり、「③授業の難易度が自分に合っている」項目がやや低い。その影響で、「⑪授業を通して知識や技能の向上を実感している」部分もやや低くなっている。

3年生は「③授業の難易度が自分に合っている」項目がやや低い。背景としては、長文を読むことに対するの苦手意識が強い部分がある。また、項目⑦～⑪に関しては授業に対する意欲の低下が項目の評価に繋がっていると考え。

改善策として、スモールステップでの授業展開を行っていく。また、上位層に対しての手立ても怠らないような構成を心がける。授業に対する意識高揚は、実社会でも活用できる思考を養うことを喚起していく。

③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

次年度から教科書が変わるため、今から情報収集に努める。また、主体性の評価に関して、教科内で改めて精査する。

<b>教科（地歴公民科）</b>	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	<p>課題の設定など、学習への見通しを持たせることができたことが評価の高い項目であったと感じる。</p> <p>板書など学習内容の整理の工夫を教科内で行ったことが、「板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。」の項目で高い評価であったと思われる。</p> <p>課題であったグループワークの機会の設定についての項目で経年比較で向上した。対話的な学習の機会を単元を見通して計画していきたい。</p>
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	<p>授業の難易度が自身にあっていないという結果が出ている。高校の学習内容と自身の生活を結びつけるなどの工夫が引き続き求められる。特に公共においては抽象的な概念をどのように生徒の理解に落とししていくのかを研修したい。また、地理探究では学んだ内容から共通テストの過去を解かせたり、自身の考えを言葉で表現する機会を増やしたりするなどの工夫をしている。</p>
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	<p>例年、生徒自身の自己評価が低い傾向性にあったが、「学びを得たと思うこと」では「答える力が身についた」や「なぜそうなるか考えられるようになった」など自身の成長を実感する言葉がみられた。</p>

<b>教科（数学科）</b>	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	<p>「授業の目標がわかりやすい。」「板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。」「授業に積極的・主体的に参加している。」の項目の評価が高かった。これらが授業や学習へのモチベーションの向上につながっており、また家庭学習の推進にもつながっていると考えられる。今後も継続していきたい。</p>
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	<p>「ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。」「分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。」の項目の評価が低かった。しかし数学科として、対話的な学び・協働的な学びを優先して指導を行っているため、「授業に積極的・主体的に参加している。」の項目が高くなっていると考えている。日々の授業の学び合いで知識のアウトプットが行われ、学習内容の定着につながることを期待している。</p> <p>また数学科では習熟度別展開を生徒の希望制としているが「授業の内容や難易度は自分に合っている。」の項目は低い傾向にある。義務教育段階の基礎知識が身に付いていない生徒が一定数いることも原因だと考えられる。授業内で学び直しの時間を設けているが、科目の指導内容をこれ以上は削りにくく、時間が足りないのが現状である。</p>
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	<p>3年生の評価が全体的に低く、特に「授業の内容や難易度は自分に合っている。」の項目の評価が低かった。今年度の3年生は難関大学を志望する生徒が例年に比べて多く、授業の到達目標が上がり、進度も早くなった。また、2年生の末から3年生の早期の段階で、志望校を私立大学や専門学校に変更した生徒も多く、選択科目のミスマッチが起こったことが原因だと考えられる。</p>

<b>教科（理科）</b>
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 2学年が全体として高評価となっている。難易度が高い問題も粘り強く取り組もうとする姿が学習意欲につながっているように感じる。今後も進路に向けて生徒の意欲を高める授業を継続する。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 1学年は依然として、難易度を高く感じている生徒が多い。追試や補習など個別に指導する時間を設け、授業改善を行っていく。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 実験を通して探究し、丸暗記ではなく、知識を活用して判断する力を身に付けさせる。

<b>教科（保健体育科）</b>
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 2学年が、全体的に評価が高かった。特に⑤の評価については、意欲的な生徒とそうでない生徒の差があったため、個に応じた学習評価を意識するとともに生徒の意欲喚起の手段として適宜説明していたことが、高評価につながったと考えられる。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 1学年が他の学年に比べ、若干評価が低い。特に、④の対話的活動については科目保健では取り入れているものの、科目体育ではペアやグループでの”言語活動”は少ないこと、基礎的な学習内容によるものと考えられる。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 低評価をつける生徒が増えている印象であり、その生徒達の傾向として体育に苦手意識があると考えられる。学習の難易度や目標の設定、安心して授業に取り組める内容に適宜見直していき、学びあるもの・達成感を得られる授業をしていきたい。

<b>教科（英語科）</b>
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） どの学年も⑦、⑧の生徒の授業態度に関する項目は高評価である。授業に参加する姿勢や、英語を学びたいという意欲は高いということが伺える。それに応えられるように授業改善を行っていきたい。④のペアワーク、グループワークも概ね評価が高いので、一方的な授業とならないように、発表や対話的な活動を取り入れ続けていきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 2学年は唯一A評価がなく、他の学年にはないC評価が散見されることから、全体的に満足度が高くないことが伺える。現在習熟度展開を行っているが、各クラスの中には難易度について物足りなさを感じていたり、周囲を騒がしく思っていたりする生徒もいるようである。今後自然クラスに戻すことも検討し、落ち着いた学習環境を提供すると共に、生徒の様子を見ながら各種活動の導入やALTや支援員の活用などの手立てを実践していきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 ・ICT、ALTの積極的な活用 ・学力向上のため課題の提供 ・1次試験から合格に向けた英検指導（1学年）

<b>教科（家庭科）</b>
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 授業に関する項目は学年を通して評価が高かった。今後も生徒の様子を見ながら継続していきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） どのように評価されるか、内容や疑問点について振り返る時間があるかという項目について、他の項目と比較して1学年で低くなっている。そのように評価されるかについては、その都度説明を行ったり、評価を記入したりするなどして充実を図りたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 今後も実習や外部講師を招き、充実した授業を実施していきたい。

<b>教科（情報・商業科）</b>
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 各学年の数値は全体的に高かった。今年から開講された科目も多いため、今後も実務に即しながら授業改善に努め、商業的な見方・考え方を深めさせていきたい。 1学年では授業の難易度に不安を抱く生徒がいるため、放課後等の個別対応のほかに、振り返りの時間を多めにとるなど1時間のうちに生徒が学んだことをアウトプットする時間を増やす。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 1学年については自分の考えの発表に関する項目が他項目と比較して、低いため、学ぶ内容を担保しながら活動できる時間を増やしていく。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 検定取得への意欲が高い。放課後等の時間を使って生徒のニーズにこたえられるようにサポートをしていく。 検定取得への意欲が高い反面、商業の学び=検定という印象を払拭することが大事だと感じる。商業の見方・考え方など本質的な内容の学びを充実させて学習意欲を喚起していきたい。 発表を取り入れた言語活動の充実をさらに行っていきたい。